



『しまの宝』

第5号 R3. 6.2

文責：校長 日高 洋子

伝統の俳句づくり

久賀小中学校恒例の俳句づくりが順調です。4月から5月末にかけて長崎新聞の掲載が続いて、紹介が追いつかないほどです。しま留学で初めての俳句づくりだった小学生も初掲載され、俄然やる気になってきました。久賀小中学校では、子ども達の感性を磨き、情緒豊かな児童生徒の育成に国語科を中心に俳句を作って、新聞社に投稿しています。今年も、楽しい俳句づくりで子ども達の豊かな情操教育が始まりました。

【中学生：ジュニア俳壇佳作】

- 目の前をキジが横断一時停止 大櫛優樹(3年)
- つばめ来る巣作り急ぎ草落とす //
- 体育館ちょこっと顔出す梅の花 狩野潤奈(3年)
- ついに来たかえると私のかくれんぼ //
- 先入観ほろりほどける^{たらめ}櫛の芽や 一ノ瀬彩(2年)
- 桜散り種まく準備母心 狩野琉嘉(1年)

【小学生：レッツ575】

- アマガエル雨が續くと声かれる 三上 覚(4年)
- こいのぼり天気良い日は立ち泳ぎ 小池 碧(5年)

覚さんと碧さんは初めて掲載されました。これから、どんどん新聞で紹介されることを期待します。下の写真は中学生の俳句鑑賞会の様子です。一人ひとりの作品をどんな意味か、思いが込められているか、苦勞したところはどこかなど本人が発表し、聞き手も感想を述べて作品を堪能します。中学生は鑑賞会の内容が濃いです。



理科の授業で…!

中学1年生3人が理科の授業で、アオリイカ(ミズイカ)の解剖を行いました。理科の授業に「生物の世界」という単元があるそうで、なんとおもしろい授業内容です。解剖用のハサミで、お腹をひらいて内臓や目や口などを切り離します。もったいないですが、食べられません。写真をとって記録用にしましたが、職員からは「もったいない～」という声が多くあがり、理科担当の熊川先生は苦笑いでした。

このアオリイカは前日にわざわざ、小学校の夏井教頭先生と中学校社会科の吉川先生が、獲りにいって20~30cmのものを、1人1枚ずつ学習できるように用意してくれました。楽しい学習に3人とも満面の笑顔でした。



小学生に食育指導

学校栄養士の末留先生が小学生に食育指導をしてくれました。食べ物の栄養についてみんなで学びました。どんな食品にどんな栄養があって、どんな役割があるのか。真剣に話を聞いた後にカードで栄養素を分類して栄養のことが十分理解できるよう学習しました。

新しく知ったこともあれば、知っていました!ということもあって、楽しく学ぶことができました。久賀の給食はおいしいと評判なのですが、学習の後の給食は、いつもよりずっとおいしく感じたかもしれません。

↓教室での指導の様子。みんな真剣です。



リモート交流学习

奥浦小学校との交流学习を今年も計画していましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、リモートでの交流に変更になりました。本年度は実施の2週間前までに、五島市での感染が発表されており、交流ができませんでした。延期も考えましたが、その他の行事もあり、できませんでした。その代わりに、リモートでも交流ができないかと、お願いして奥浦小学校との交流学习が実現できました。いつもは3人で授業をしている3、4年生は12～3人の奥浦小学校の元気な児童に負けないように、自己紹介や自分の出身地を紹介しました。英語の学習の時間だったので、英語の自己紹介や質問をしました。事前に用意した写真や絵を見せながら、クイズを出すなどして、楽しい交流学习になりました。



中総体開催目前！

5月末に開催予定だった五島市中学校総合体育大会が2週間延期になり、調整が大変だったと思いますが、あっという間に大会目前になって、子ども達の気合いも入ってきています。6月1日には激励会があり、小学生からのエールが送られ

ました。中学生の部活動に負けないように、小学生も練習を頑張りました。大きな声で「フレ～、フレ～・・・」とやるのは少し恥ずかしい気持ちがありましたが、練習を重ねるたびに、どんどん上手になって、中学生に頑張ってもらいたいと思う気持ちが大きくなりました。みんなで応援をしていることが中学生には十分に伝わったことだろうと思います。3人だけの激励応援でしたが、力強く大きな声でできました。

五島市中体連参加選手心得にあるように、1感謝、2マナー、3勝負を忘れず、頑張ってもらいます。大会は6月6日(日)市民体育館サブアリーナで行われますが、新型コロナウイルス感染症防止対策で応援が制限されています。選手は福江中学校と本校の生徒のみですが、万全の防止策で実施されます。子ども達の頑張りに期待します！



梅の実収穫に歓声！

5月31日、グラウンドの隅にある梅の木にたくさん実がついていたので、全校児童生徒全員で収穫をしました。昨年度は全く実がつかず、収穫ができなかったため、多くのしま留学生は初めての収穫でした。昼休み時間に、木に登ったり、枝を引っ張ったりして、集めました。

いつもは天気の良い日はグラウンドで走り回る子ども達も、歓声をあげて梅の実獲りに熱中しました。収穫した実は梅シロップなどにします。自然の恵みに感謝しつつ、また、子ども達の体験の積み重ねになりました。



小3の湊人さんの手のひらと比べてみて……あまりの大きさにビックリ！ ←